

8-4-14 土質・地質専門委員会

1. 専門委員会の委員及び活動体制

令和元年度に引き続き、16名のメンバーで活動を行った。

年間計画に基づく通常の活動は、3班のワーキンググループ（地盤評価WG、調査結果品質確保WG、照査特別WG対応）で企画・実施準備を担当し、実務・実行にあたっては専門委員会全体で対応する方針で運営した。

その他、技術委員会他から指示・要請を受けた課題に対しては、その都度全委員にて対応した。また、地盤工学会、道路協会など外部組織からの要請課題についても対応した。

2. 主な活動の記録

(1) 定例専門委員会等の開催

(土質・地質専門委員会委員長 斎藤 正朗)

a. 活動概要(1) 年間計画活動

主な活動	概要
地盤評価WG	「第26回設計技術者のための地盤技術講演会」及びテキスト修正 ・web開催：令和3年1月22日（金）参加者 370人（130社） 今年度は新型コロナ感染症対応によりweb配信による開催とした。 内容は昨年度に引き続き、午前を基礎編、午後を応用編の5時間構成の終日開催とした。アンケートでは、講演内容や講演時間に好評の意見を多数頂くとともに、講演内容の充実（災害対応等の追加）や講演方法についての要望もあり、引き続き、来年度開催へ反映し内容の充実を図る。
調査結果品質確保WG	・土質・地質調査に係るチェックリストの更新検討 品質セミナーにて紹介している設計技術者向け土質・地質調査チェックリストの改善・更新に向け活動を継続。 ・RCCM自主教材修正 「地質部門」「土質及び基礎部門」のテキスト・問題の一部改訂を行った。
照査特別WG担当	エラー事例収集とセミナーテキスト修正、セミナー講演会対応を行った。また、東京都「技術情報活用研修」に講師を1名派遣した

b. 活動概要(2) 対外的な活動

活動内容	概要
公益社団法人地盤工学会	「地盤品質判定士協議会」に委員3名を派遣(継続)

委員全員が参加する専門委員会は、今年度は新型コロナ感染症対応として、議題が生じる事にメール会議を行う方式で開催した(4月～3月)。

(2) 活動の概要

令和2年度活動の概要は下表a,bに示すとおりである。

3. 次年度の活動について

基本的に、今年度の活動を踏襲・継続する。「地盤技術講演会」と「調査計画の立て方(第1回改訂版、道路事業編)」の発行、「RCCM自主学習教材」テキストの修正、設計技術者向け調査結果チェックリストの更新等を中心とした活動を行う。開催方式は、web会議方式とする。